

I. ～9月
「基本に立ち返る！」
～条文・判例・本試験問題で基礎を固める～

II. 10月～3月
「実践あるのみ！」
～アウトプットの方法論を確立する～

III. 3月～4月
「最終調整！」
～全国公開模試で最後の調整をする～

～9月

10月

1月

3月

論文式対策

論文過去問徹底分析講義 (全11回)

▶～9月

「本試験問題」、「出題の趣旨」、「採点感覚等に関する意見」、「ヒアリング」の徹底的な分析を通して、合格答案＝落ちない答案のイメージを確立させます！

講義に立ち返って復習！
相乗効果！！
講義で学んだことを実践！

論文アプローチ答練・過去問編 (全21回：答練＋論述ポイント講義)

▶～9月

※「論述ポイント講義」の受講は「解説あり」のみ受講可能。

専任講師作成の採点基準・参考答案と丁寧な添削によって、本試験で評価されるポイントを掴みましょう！

論文アプローチ答練・分析編

(解説あり 全24回・解説なし 全12回)

▶10月～12月

答練＋論述ポイント講義 全12回・答案分析講義 全12回
※「論述ポイント講義」「答案分析講義」の受講は「解説あり」のみ受講可能。

専任講師監修の「現場思考」問題！科目別に実施される答練で、各科目の特徴に即した答案の「型」を確立させましょう！

短答・論文は科目の順序が同じなので、相乗効果を狙えます！

相乗効果！！
リンク

論文アプローチ答練・答案分析講義

(分析編：12回、実践編：9回※「解説あり」のみ受講可能)

実際に答練を受講した受講生の参考答案に基づき、「落ちない答案＝合格答案」の書き方を伝授します。

論文アプローチ答練・実践編

(解説あり 全18回・解説なし 全9回)

▶1月～3月

答練＋論述ポイント講義 全9回・答案分析講義 全9回
※「論述ポイント講義」「答案分析講義」の受講は「解説あり」のみ受講可能。

専任講師監修の「現場思考」問題！
本試験と同様、系統別の実施で実戦力を磨きます！

短答式対策

「判例六法」条文・判例速習講義 (全14回)

▶～9月

短答・論文一網打尽！条文・判例を徹底的に押さえることで、知識と論点抽出能力が身に付きます！

短答アプローチ答練・分析編

(全12回：答練＋解法ポイント講義) ▶10月～12月

※「解法ポイント講義」の受講は「解説あり」のみ受講可能。

科目別・体系別に実施。必要な知識を万遍なく網羅できるので、勉強のペースメーカーに最適です！

短答アプローチ答練・実践編

(解説あり 全8回・解説なし 全4回) ▶1月～3月

答練全4回・解法ポイント講義全4回

※「解法ポイント講義」の受講は「解説あり」のみ受講可能。

本試験と同様、1日で3系統をこなし、「実戦力を磨きます！

短答アプローチ答練 実践編 解法ポイント講義

(4回※「解説あり」のみ受講可能)

答練の結果(総合成績)に基づき、正答率や解答分布のデータから落としてはいけない問題、そうではないものを把握します。

選択科目対策

選択科目集中講義 (各科目全8回) 労働法・倒産法

▶6月～

選択科目は、短期集中。
夏の間に一通り終わらせておくのがオススメです。

選択科目書き方講座 (各科目全4回)

労働法・倒産法・知的財産法・経済法

▶10月～

本試験問題を分析し、合格答案の書き方を伝授します。

全8科目実施！

論文アプローチ答練・選択科目編 (解説あり 全6回・解説なし 全3回) ▶1月～3月

答練 全3回・論述ポイント講義 全3回

※「論述ポイント講義」の受講は「解説あり」のみ受講可能。

演習が不足しがちな選択科目も、答練で確実に押さえましょう！

全国公開模試(全1回)

本試験

専任講師陣が何度も検討会を重ねて作成した良問で、「現場思考」のシミュレーションを！！